

建設常任委員会

○平成25年度宇都宮市一般会計補正予算(第1号)

**議案の概要** 都市基盤河川奈坪川トンネル整備工事において、追加調査の結果、新たに約270メートルの区間で地盤改良を行う補助工法を追加することに伴い、債務負担行為の期間及び限度額を変更するもの。

**質疑** 今回の計画変更にあたり、補助工法の選定や事業費の算出をどのように行ったのか。

**説明** 補助工法の選定には、市と工事請負業者、市がコンサルティング契約を結んでいるトンネル技術士、専門家、地盤工学が専門の大学准教授の5者により検討した後、工事の安全性の確保と経済性を考慮し、市が決定した。

事業費の算出には、工事に必要な資材の単価を、民間企業に調査委託し、その結果に基づいて

積算しており、適正な金額と認識している。

**委員会の結論** 全会一致で原案のとおり可決。



▲現地視察の様子

○宇都宮市都市開発資金事業特別会計補正予算

**議案の概要** 歳出において、一般会計への鶴田沼

緑地用地の売払いによる財産収入の増に伴い、一般会計へ繰出金を追加計上し、歳入において、財産売却収入を追加計上し、歳入歳出それぞれ5億6,455万8千円を追加計上し、予算総額を7億1,682万円に補正するもの。

**委員会の結論** 全会一致で原案のとおり可決。

文教消防水道常任委員会

○平成25年度宇都宮市一般会計補正予算(第2号)

**議案の概要** 消防費で、はしご付消防自動車の購入に対する国庫補助金の交付決定に伴い、消防車等整備費などを追加計上するもの。

**質疑** 今回の補正で5基の耐震性貯水槽を整備することのことであるが、今後、貯水槽の整備をどのように進めていくのか。

**説明** 本年度は、今回の補正による5基を含め、35基の耐震性貯水槽を整備していく予定である。整備方針としては、市街地を56メートル四方のメッシュ状に区分けし、各1基ずつ、合計313基整備されるよう整備し、27年度には完了する予定である。



▲耐震性貯水槽

**委員会の結論** 全会一致で原案のとおり可決。

○「教育費無償化」の前進をもとめる陳情

**陳情の趣旨** 独自措置で、一定の年収以下の家庭の私立高校授業料を実質無償化する自治体も生まれているが、教育を受ける権利が自治体の財政力に左右されてはならず、国は責任をもって教育費の父母負担軽減を進める必要があるため、「高校無償化」の維持・拡充を進めることなど2項目について、国に意見書を提出してほしい。

**意見** 「高校無償化」は2010年度に始められた制度であり、特定扶養控除廃止によって負担増となるケースも見受けられるが、一定の期間を経て、成果の検証をしていく必要があることからこの陳情については不採択としたい。

**委員会の結論** 継続審査を求め意見もあつたが、起立採決の結果、不採択。

公共交通問題調査特別委員会

○中間報告書を提出

公共交通問題調査特別委員会では、市政の喫緊の重要課題となつている東西基幹公共交通導入に向けて取り組むべき諸課題と、市にふさわしい東西基幹公共交通について提言をとりまとめ、中間報告を行った。

主な内容は次のとおり。

- 交通機能の円滑化
- ・ICカードを活用した信用乗車方式を採用
- ・地域特性に応じた走行空間の整備
- 快適でわかりやすい公共交通の構築
- ・乗り継ぎに係る待ち時間を快適に過ごすことができる施設整備
- ・ユニバーサルデザインに配慮した施設整備

○都市の魅力・都市アメニティの向上

- ・景観を重視したまちづくりの推進
- ・システム全体としての

トータルデザインの考え方に基づく整備

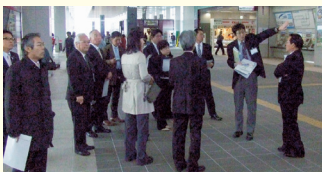
○公共交通の利用促進

・低廉な料金の設定、乗り継ぎによる負担増の回避

- ・ICカードの導入(全国で利用可能なSuicaやPASMOとの連携)
- 公共交通に対する市民理解の促進
- ・市民に対する適切な情報提供(モビリティマネジメントの推進)
- ・沿線の学校や企業との連携

○先進地視察

富山市の「LRTに関する取り組み」と、高岡市の「万葉線に関する取り組み」について調査をするため、4月18日と19日に視察を行った。



▲視察の様子